

「横浜市の人口—令和3年中の人口動態と令和4年1月1日現在の年齢別人口」がまとまりました！

東京都区部からの転入超過が3,580人に拡大

～県央、湘南へは転出超過、外国人は2年連続の減少～

令和3年中の人口動態（転入・転出、出生・死亡等）と令和4年1月1日現在の年齢別人口をまとめましたのでお知らせします。詳細は「横浜市統計情報ポータル」(<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/kankobutsu/yokohamajinko/r3dotainenrei.html>)に掲載しています。

◇ 主な特徴

1 令和3年中の人口動態

- ・総人口は4,257人の減少、通年の比較では戦後初の減少
- ・社会動態は7,200人の増加、社会増加は10年連続
- ・自然動態は1万1457人の減少、自然減少は6年連続

2 行政区別の人口動態

- ・都筑区など7区で増加、鶴見区など11区で減少

3 市外移動の状況

- ・東京圏内との移動では、東京都区部、川崎市からは転入超過、県央、湘南へは転出超過
- ・東京圏外との移動では、他の道府県、国外、いずれも転入超過幅が縮小

4 外国人人口の動き

- ・外国人人口は2,652人減（日本人は1,605人減）で、2年連続の減少
- ・国籍・地域別では、中国が1,593人減、韓国・朝鮮が449人減
- ・在留資格別では、留学が2,015人減、技能実習が1,122人減

5 年齢別人口（令和4年1月1日現在）の状況

- ・老年人口（65歳以上）は92万6256人、総人口に占める割合は25.2%、過去最高
- ・年少人口（15歳未満）は43万4150人、総人口に占める割合は11.8%、過去最低

<参考>

■ 令和3年中の人口動態

令和3年1月1日から12月31日までの住民基本台帳法及び戸籍法の規定に基づく出生・死亡・転入・転出の届出等により集計したものです。

■ 令和4年1月1日現在の年齢別人口

令和2年国勢調査を基礎として算出された令和3年1月1日現在年齢別人口に、令和3年1月～12月の住民基本台帳の年齢別人口動態を加減して集計したものです。

1 令和3年中の人口動態

総人口は4,257人の減少、通年の比較では戦後(注1)初の減少

- 横浜市の総人口は令和3年の1年間に4,257人(0.11%)減少し、通年の比較では、戦後(注1)初めての減少となりました。
- 社会動態は7,200人の増加(転入13万9021人-転出13万1362人-その他(注2)459人)で、前年(令和2年・1万3481人増)より増加幅は縮小しました。東日本大震災の翌年の平成24年から10年間、社会増加が続いていますが、増加数が1万人を下回るのは、平成29年以来4年ぶりです。
- 自然動態は1万1457人の減少(出生2万4876人-死亡3万6333人)で、前年(△8,203人)より減少幅は拡大し、出生数と死亡数の差は初めてマイナス1万人超となりました。自然減少は平成28年以降6年連続で、出生減・死亡増の傾向から、年々減少幅は拡大しています。

(注1) 通年での集計を始めた昭和22年以降

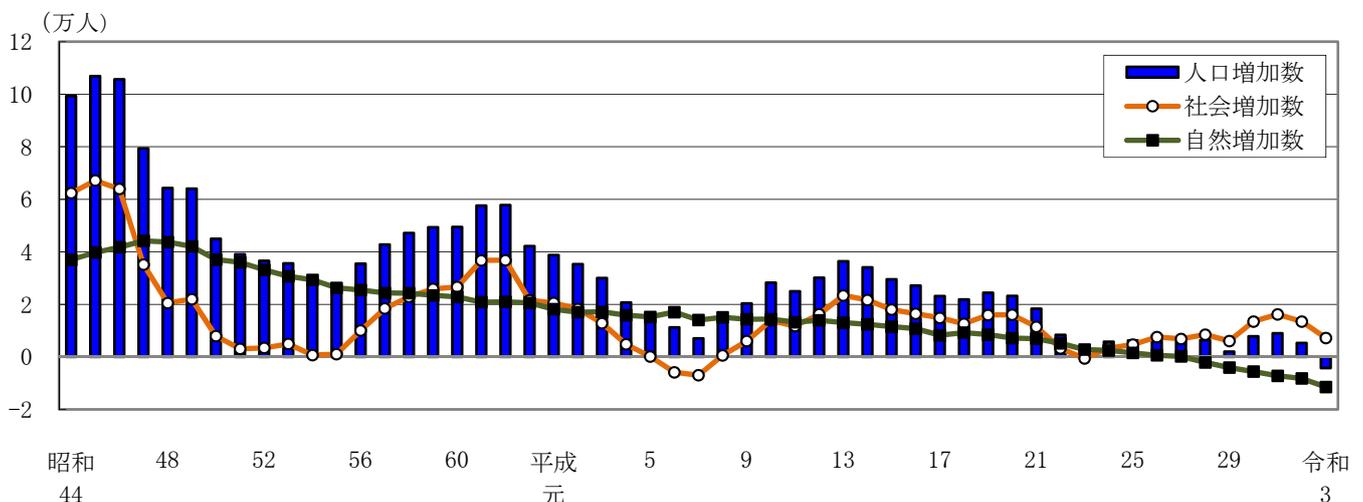
(注2) 職種による加除・消除などの異動

表1 人口動態の推移(平成24年中~令和3年中)

(単位:人)

年中	人口増加数	人口増加率(%)	社会動態				自然動態		
			社会増加数	転入	転出	その他	自然増加数	出生	死亡
平成24年	5,795	0.16	3,335	141,289	137,784	△170	2,460	31,623	29,163
25年	6,223	0.17	4,688	140,356	132,953	△2,715	1,535	30,753	29,218
26年	8,192	0.22	7,579	138,809	129,947	△1,283	613	30,780	30,167
27年	7,047	0.19	6,852	144,035	135,954	△1,229	195	30,928	30,733
28年	6,401	0.17	8,485	140,829	132,234	△110	△2,084	29,749	31,833
29年	1,988	0.05	6,061	140,759	134,518	△180	△4,073	28,611	32,684
30年	7,860	0.21	13,456	147,977	134,397	△124	△5,596	27,891	33,487
令和元年	8,985	0.24	16,185	151,930	135,653	△92	△7,200	26,394	33,594
2年	5,278	0.14	13,481	142,051	127,562	△1,008	△8,203	25,720	33,923
3年	△4,257	△0.11	7,200	139,021	131,362	△459	△11,457	24,876	36,333

図1 人口増加の推移(昭和44年中~令和3年中)



2 行政区別の状況

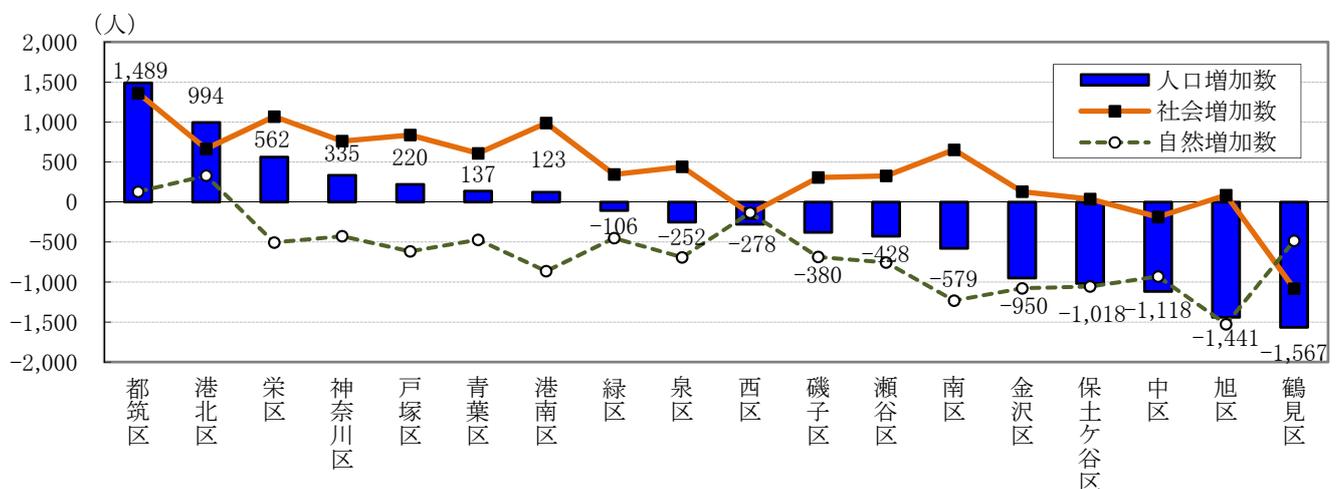
都筑区など7区で増加、鶴見区など11区で減少

- 人口増減を行政区別でみると、増加が都筑区（1,489人）、港北区（994人）、栄区（562人）など7区、減少が鶴見区（△1,567人）、旭区（△1,441人）、中区（△1,118人）など11区となっています。
- 栄区、港南区の2区は「減少から増加」に、鶴見区、西区、中区、緑区の4区は「増加から減少」に転じています。
- 自然増加は、港北区、都筑区の2区のみとなっています。
- 社会増加は15区で、減少した3区（鶴見区、中区、西区）は自然動態も減少しています。

表2 行政区別人口及び人口増減（令和3年中）

行政区	人口（1月1日現在）		人口増減				（参考） 令和2年中の人口増加数	
	令和3年	令和4年	人口増加数	社会増加数	自然増加数	人口増加率	順位	
横浜市	3,776,286	3,772,029	△ 4,257	7,200	△ 11,457	△ 0.11	-	5,278
鶴見区	297,147	295,580	△ 1,567	△ 1,083	△ 484	△ 0.53	16	237
神奈川区	247,109	247,444	335	762	△ 427	0.14	4	886
西区	104,761	104,483	△ 278	△ 144	△ 134	△ 0.27	11	164
中区	151,389	150,271	△ 1,118	△ 187	△ 931	△ 0.74	18	1,096
南区	198,096	197,517	△ 579	653	△ 1,232	△ 0.29	12	△ 189
港南区	215,099	215,222	123	987	△ 864	0.06	6	△ 120
保土ヶ谷区	207,649	206,631	△ 1,018	38	△ 1,056	△ 0.49	15	△ 13
旭区	244,800	243,359	△ 1,441	86	△ 1,527	△ 0.59	17	△ 884
磯子区	166,640	166,260	△ 380	307	△ 687	△ 0.23	10	△ 132
金沢区	198,596	197,646	△ 950	129	△ 1,079	△ 0.48	14	△ 892
港北区	358,527	359,521	994	665	329	0.28	3	2,758
緑区	183,328	183,222	△ 106	345	△ 451	△ 0.06	8	570
青葉区	311,009	311,146	137	609	△ 472	0.04	7	1,254
都筑区	213,402	214,891	1,489	1,361	128	0.70	1	738
戸塚区	283,864	284,084	220	837	△ 617	0.08	5	584
栄区	120,051	120,613	562	1,068	△ 506	0.47	2	△ 271
泉区	152,339	152,087	△ 252	440	△ 692	△ 0.17	9	△ 112
瀬谷区	122,480	122,052	△ 428	327	△ 755	△ 0.35	13	△ 396

図2 行政区別人口動態（令和3年中）



裏面あり

3 市外移動の状況

東京圏内との移動では、東京都区部、川崎市などで転入超過、県央、湘南などで転出超過

- 市外移動を地域別にみると、東京圏内との移動では、東京都区部（3,580人）、川崎市（2,147人）などで転入超過となっています。東京都区部は前年に転入超過（753人）に転じ、さらに超過幅が拡大しています。
- 神奈川県内の県央（△2,069人）、湘南（△1,723人）、相模原市（△703人）などでは転出超過となっており、これらの地域では前年より超過幅が拡大しています。

東京圏外との移動では、他の道府県、国外、いずれも転入超過幅が縮小

- 東京圏外との移動では、他の道府県（7,408人）、国外（149人）といずれも転入超過となっているものの、転入者数の減少により、超過幅はそれぞれ前年（他の道府県9,929人、国外4,498人）より大幅に縮小しています。

図3 地域別にみた転入・転出者数（令和3年中）

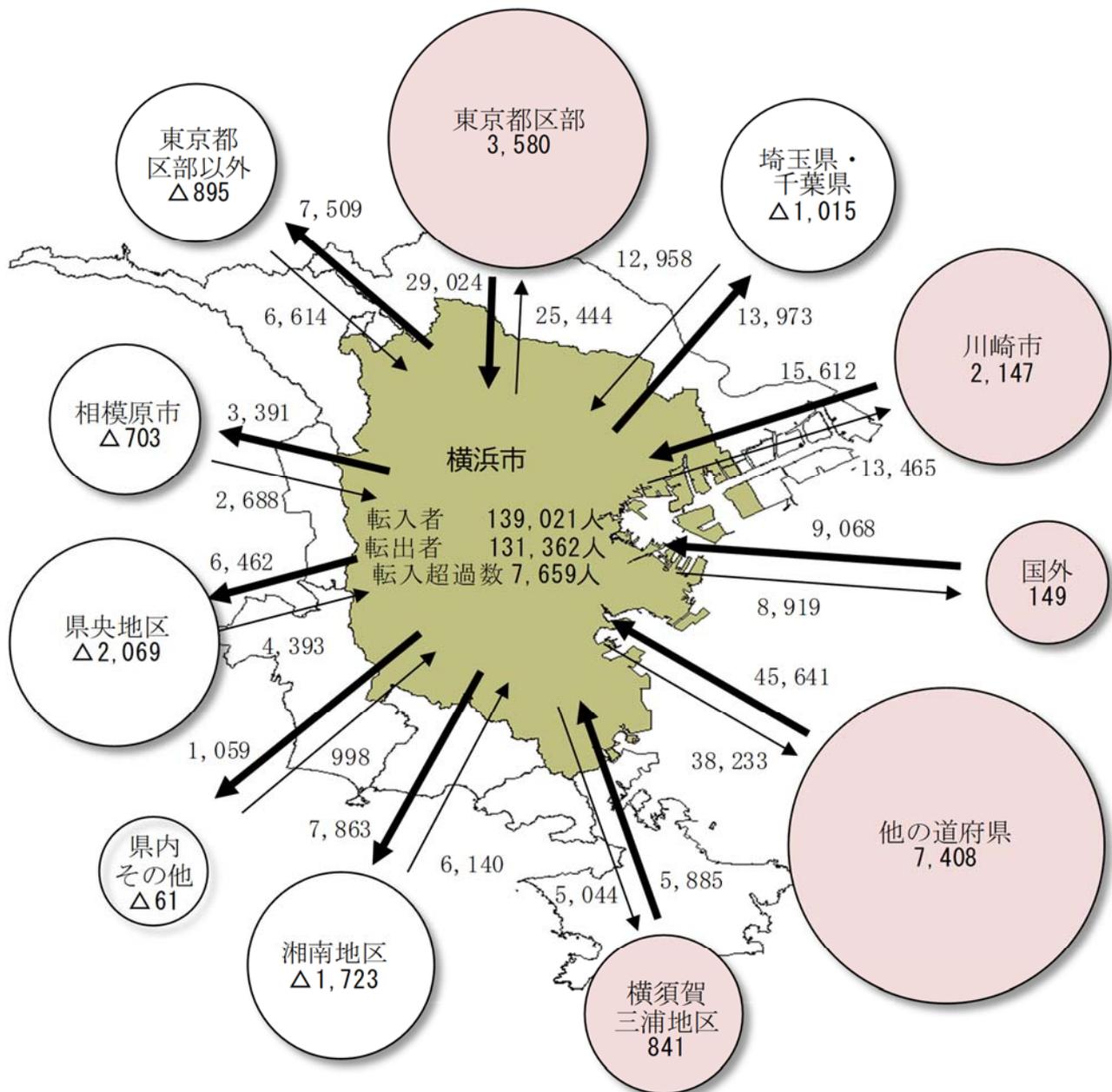


図4 東京圏内各地域の転入・転出超過数の推移（平成29年中～令和3年中）

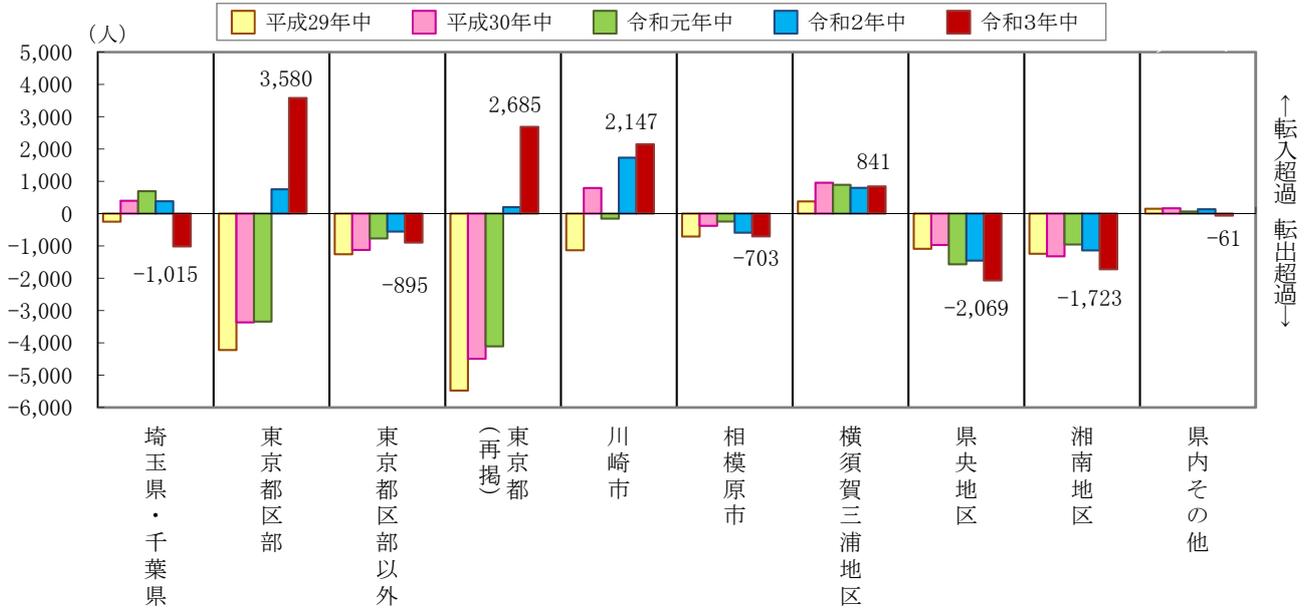


図5 国内国外移動の転入・転出超過数の推移（平成29年中～令和3年中）

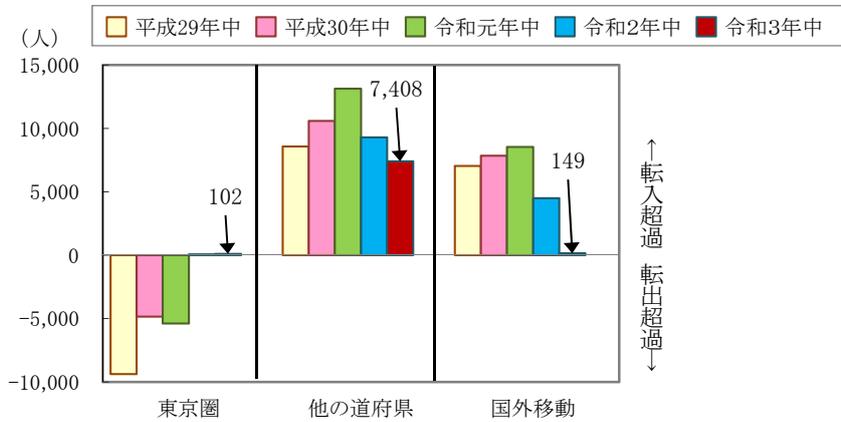


表3 地域別の転入超過数（令和2年中・3年中）

地域	転入超過数			転入			転出		
	令和3年	令和2年	令和2年～3年の増減数	令和3年	令和2年	令和2年～3年の増減数	令和3年	令和2年	令和2年～3年の増減数
総数	7,659	14,489	△ 6,830	139,021	142,051	△ 3,030	131,362	127,562	3,800
神奈川県内	△ 1,568	△ 520	△ 1,048	35,716	34,690	1,026	37,284	35,210	2,074
川崎市	2,147	1,733	414	15,612	14,821	791	13,465	13,088	377
相模原市	△ 703	△ 590	△ 113	2,688	2,648	40	3,391	3,238	153
横須賀三浦地区	841	797	44	5,885	5,848	37	5,044	5,051	△ 7
県央地区	△ 2,069	△ 1,456	△ 613	4,393	4,255	138	6,462	5,711	751
湘南地区	△ 1,723	△ 1,139	△ 584	6,140	5,960	180	7,863	7,099	764
その他	△ 61	135	△ 196	998	1,158	△ 160	1,059	1,023	36
神奈川県外の県	9,078	10,511	△ 1,433	94,237	94,194	43	85,159	83,683	1,476
東京都	2,685	198	2,487	35,638	33,897	1,741	32,953	33,699	△ 746
区部	3,580	753	2,827	29,024	27,053	1,971	25,444	26,300	△ 856
区部以外	△ 895	△ 555	△ 340	6,614	6,844	△ 230	7,509	7,399	110
埼玉県・千葉県	△ 1,015	384	△ 1,399	12,958	13,534	△ 576	13,973	13,150	823
他の道府県	7,408	9,929	△ 2,521	45,641	46,763	△ 1,122	38,233	36,834	1,399
国外	149	4,498	△ 4,349	9,068	13,167	△ 4,099	8,919	8,669	250
(再掲) 国内移動	7,510	9,991	△ 2,481	129,953	128,884	1,069	122,443	118,893	3,550
東京圏	102	62	40	84,312	82,121	2,191	84,210	82,059	2,151

注) 他の道府県には地域不詳を含む。

裏面あり

4 外国人人口の動き

外国人人口は2,652人減、2年連続の減少

- 総人口は4,257人減少していますが、このうち日本人が1,605人減少、外国人が2,652人減少となっています。
- 外国人を人口動態の内訳でみると、社会動態が3,166人減、自然動態が514人増となっています。外国人人口の減少は2年連続で、転入者数（1万2631人）が前年より減少し、転出者数（1万2865人）を下回る転出超過となり、社会減少の幅は前年（△1,964人）より拡大しています。
- 国籍・地域別では、中国（△1,593人）、韓国・朝鮮（△449人）、インド（△210人）の順に減少しています。
- 在留資格別では、留学（△2,015人）と技能実習（△1,122人）の減少が大きくなっています。
- 行政区別では、中区（△1,041人）が最大の減少となっています。

表4 令和3年中の人口動態（日本人・外国人）

(人)

	人口 増加数	人口 増加率(%)	社会動態				自然動態		
			社会増減	転入	転出	その他	自然増減	出生	死亡
総数	△ 4,257	△ 0.11	7,200	139,021	131,362	△ 459	△ 11,457	24,876	36,333
日本人	△ 1,605	△ 0.04	10,366	126,390	118,497	2,473	△ 11,971	24,102	36,073
外国人	△ 2,652	△ 2.59	△ 3,166	12,631	12,865	△ 2,932	514	774	260
鶴見区	△ 377	△ 2.72	△ 474	1,949	2,087	△ 336	97	130	33
神奈川区	△ 328	△ 4.39	△ 373	977	1,053	△ 297	45	62	17
西区	△ 371	△ 7.69	△ 420	702	892	△ 230	49	55	6
中区	△ 1,041	△ 6.27	△ 1,092	1,391	1,630	△ 853	51	100	49
南区	△ 240	△ 2.25	△ 284	908	917	△ 275	44	77	33
港南区	114	4.05	104	281	207	30	10	21	11
保土ヶ谷区	△ 277	△ 4.98	△ 307	636	724	△ 219	30	40	10
旭区	29	0.90	16	418	356	△ 46	13	19	6
磯子区	△ 86	△ 1.69	△ 126	507	572	△ 61	40	49	9
金沢区	237	7.73	241	915	597	△ 77	△ 4	9	13
港北区	△ 254	△ 3.64	△ 281	1,057	1,044	△ 294	27	49	22
緑区	54	1.27	24	565	542	1	30	38	8
青葉区	△ 29	△ 0.66	△ 52	790	772	△ 70	23	31	8
都筑区	△ 71	△ 2.01	△ 89	409	451	△ 47	18	27	9
戸塚区	△ 35	△ 0.81	△ 69	509	473	△ 105	34	40	6
栄区	10	0.83	9	172	153	△ 10	1	6	5
泉区	△ 5	△ 0.21	△ 7	229	191	△ 45	2	14	12
瀬谷区	18	0.92	14	216	204	2	4	7	3
(参考)令和2年中 外国人	△ 1,384	△ 1.33	△ 1,964	14,964	13,010	△ 3,918	580	795	215

表5 国籍・地域別の外国人人口（令和2年・3年、各年12月末現在）

(人)

国籍・地域	総数	中国	韓国・朝鮮	ベトナム	フィリピン	ネパール	インド	台湾	ブラジル	米国	タイ
令和2年	102,255	40,483	13,191	9,262	8,265	4,183	2,948	2,738	2,665	2,523	1,645
令和3年	99,242	38,890	12,742	9,157	8,298	4,174	2,738	2,699	2,527	2,353	1,658
構成比(%)	100.0	39.2	12.8	9.2	8.4	4.2	2.8	2.7	2.5	2.4	1.7
対前年増加数	△ 3,013	△ 1,593	△ 449	△ 105	33	△ 9	△ 210	△ 39	△ 138	△ 170	13

* 令和3年集計で登録人口が多い順に10の国・地域を記載

* 本表は住民基本台帳人口をもとに作成しているため、表4の外国人の人口増加数（△2,652）とは一致しない。

表6 在留資格別の外国人人口（令和2年中・3年中）

在留資格	外国人人口(人)		構成比 (%)	対前年	
	令和2年	令和3年		増加数	増加率(%)
教授、芸術、宗教、報道	189	205	0.2	16	8.5
高度専門職	1,016	1,010	1.0	△ 6	△ 0.6
技術・人文知識・国際業務	12,753	11,962	12.1	△ 791	△ 6.2
経営・管理	944	927	0.9	△ 17	△ 1.8
企業内転勤	882	556	0.6	△ 326	△ 37.0
教育	550	503	0.5	△ 47	△ 8.5
法律・会計業務、医療、研究、介護、興行	332	323	0.3	△ 9	△ 2.7
技能	2,518	2,345	2.4	△ 173	△ 6.9
特定技能	176	774	0.8	598	339.8
技能実習	5,196	4,074	4.1	△ 1,122	△ 21.6
留学	6,943	4,928	5.0	△ 2,015	△ 29.0
文化活動、研修	26	15	0.0	△ 11	△ 42.3
家族滞在	11,358	10,755	10.8	△ 603	△ 5.3
特定活動	2,443	3,087	3.1	644	26.4
永住者	36,492	37,582	37.9	1,090	3.0
日本人の配偶者等	5,344	5,313	5.4	△ 31	△ 0.6
永住者の配偶者等	2,060	2,135	2.2	75	3.6
定住者	5,430	5,346	5.4	△ 84	△ 1.5
特別永住者	7,542	7,339	7.4	△ 203	△ 2.7
その他	61	63	0.1	2	3.3

*12月末現在

裏面あり

5 年齢別人口（令和4年1月1日現在）の状況

老年人口は92万6256人、総人口（注3）に占める割合は25.2%と、過去最高を更新

- 老年人口（65歳以上）は92万6256人、前年比4,392人（0.5%）の増加となっています。総人口（注3）に占める老年人口の割合は、一貫して上昇し続けており、令和4年は25.2%と過去最高を更新しています。
- 年少人口（15歳未満）は43万4150人、前年比6,406人（1.5%）の減少となっています。総人口（注3）に占める年少人口の割合は、低下傾向で推移しており、平成12年に老年人口の割合を下回り、令和4年はこれまでに最も低い11.8%となっています。
- 75歳以上人口（49万0630人）は、年少人口を上回り、老年人口の半数以上を占めています。
- 老年人口の割合が最も高い区は栄区（31.6%）で、金沢区（30.6%）、旭区（30.3%）を加えた3区が30%超となっています。
- 年少人口の割合が最も高い区は都筑区（14.8%）で、市内全区で年少人口は減少しています。

（注3）年齢不詳を除く

表7 年齢3区分別人口の推移（昭和22年～令和4年）

年次	人口（人）					構成比（%）		
	総数	0～14歳 （年少人口）	15～64歳 （生産年齢人口）	65歳以上 （老年人口）	うち 75歳以上	0～14歳 （年少人口）	15～64歳 （生産年齢人口）	65歳以上 （老年人口）
昭和22	814,379	261,084	527,405	25,890	4,773	32.1	64.8	3.2
25	951,189	312,659	605,886	32,582	6,967	32.9	63.7	3.4
30	1,143,687	350,098	749,689	43,875	10,744	30.6	65.6	3.8
35	1,375,710	365,008	953,827	56,875	14,466	26.5	69.3	4.1
40	1,788,915	411,315	1,302,221	75,379	20,460	23.0	72.8	4.2
45	2,238,264	530,939	1,606,628	100,697	28,056	23.7	71.8	4.5
50	2,621,771	663,517	1,823,622	132,756	39,255	25.3	69.6	5.1
55	2,773,674	666,549	1,931,040	173,291	54,387	24.1	69.7	6.3
60	2,992,926	627,834	2,144,889	217,410	74,890	21.0	71.7	7.3
平成2	3,220,331	551,426	2,373,769	278,000	103,327	17.2	74.1	8.7
7	3,307,136	491,340	2,447,608	364,760	131,195	14.9	74.1	11.0
12	3,426,651	474,656	2,463,151	477,053	174,838	13.9	72.1	14.0
17	3,579,628	481,960	2,459,648	603,839	243,753	13.6	69.4	17.0
22	3,688,773	486,262	2,440,385	736,216	325,403	13.3	66.6	20.1
27	3,724,844	468,535	2,368,291	865,490	402,549	12.7	64.0	23.4
令和2	3,777,491	441,810	2,316,309	920,583	483,077	12.0	63.0	25.0
3	3,776,286	440,556	2,315,077	921,864	483,096	12.0	63.0	25.1
4	3,772,029	434,150	2,312,834	926,256	490,630	11.8	63.0	25.2
※	(人) △ 4,257 (%) △ 0.1	△ 6,406 △ 1.5	△ 2,243 △ 0.1	4,392 0.5	7,534 1.6			

* 人口は、令和2年以前は「国勢調査」（10月1日現在）、令和3年以降は「推計人口」（1月1日現在）による。

* 構成比は、「年齢不詳を含まない総人口」に対する構成比

※（ ）内の値は令和3年からの増加数及び増加率

表8 行政区別年齢3区分別人口の割合及び対前年増加率（令和4年）

行政区	令和4年（1月1日現在）			令和3年中の人口増加率（%）			
	0～14歳 （年少人口）	15～64歳 （生産年齢人口）	65歳以上 （老年人口）	総数	0～14歳 （年少人口）	15～64歳 （生産年齢人口）	65歳以上 （老年人口）
鶴見区	12.5	65.9	21.5	△ 0.53	△ 1.96	△ 0.56	0.35
神奈川区	11.2	66.7	22.1	0.14	△ 1.31	0.27	0.50
西区	11.1	69.4	19.6	△ 0.27	△ 1.27	△ 0.23	0.15
中区	10.2	65.7	24.1	△ 0.74	△ 2.38	△ 0.70	△ 0.35
南区	9.8	63.0	27.2	△ 0.29	△ 2.16	△ 0.09	△ 0.12
港南区	11.0	59.7	29.2	0.06	△ 0.75	0.06	0.37
保土ヶ谷区	10.8	62.2	27.0	△ 0.49	△ 1.71	△ 0.63	0.27
旭区	11.3	58.4	30.3	△ 0.59	△ 1.74	△ 0.63	△ 0.10
磯子区	11.7	59.9	28.4	△ 0.23	△ 0.97	△ 0.29	0.17
金沢区	10.8	58.7	30.6	△ 0.48	△ 3.23	△ 0.50	0.54
港北区	12.5	67.5	20.0	0.28	△ 0.13	0.26	0.63
緑区	12.7	62.3	25.1	△ 0.06	△ 1.27	△ 0.12	0.72
青葉区	12.7	64.6	22.7	0.04	△ 0.76	△ 0.25	1.34
都筑区	14.8	66.4	18.8	0.70	△ 1.36	0.74	2.28
戸塚区	12.8	60.9	26.2	0.08	△ 1.76	0.16	0.81
栄区	11.1	57.2	31.6	0.47	△ 1.21	0.96	0.20
泉区	11.6	58.9	29.5	△ 0.17	△ 1.23	△ 0.16	0.24
瀬谷区	11.4	59.8	28.9	△ 0.35	△ 2.98	△ 0.07	0.11

* 年齢別人口割合は年齢不詳を除いた総人口で算出している。

お問合せ先

政策局統計情報課長 入江 佳久 Tel 045-671-2050